

しんがた 新型コロナウイルス

りゅうこう
が流行するなかでの避難

「新型コロナウイルス」が日本だけでなく、世界で流行しています。新型コロナウイルスにかかってしまうと重い病気になることもあります。**自分を、家族を、またみんなを守るために、コロナウイルスを広げないことが大切です。**



新型コロナウイルス(電子顕微鏡写真)



めみ
目に見えないウイルスのことも心配です。でも、それだけでなく、「**水害**」のことも心配です。水害とは、大雨で川の水があふれたり、雨の水がたまり、町中が水びたしになってしまふことです。小学生のみなさんが生まれるよりも昔に、豊岡市で水害が起こってしました。最近、大雨が多いので、また豊岡で大雨が降っても大丈夫なように心がけておくことが大切です。



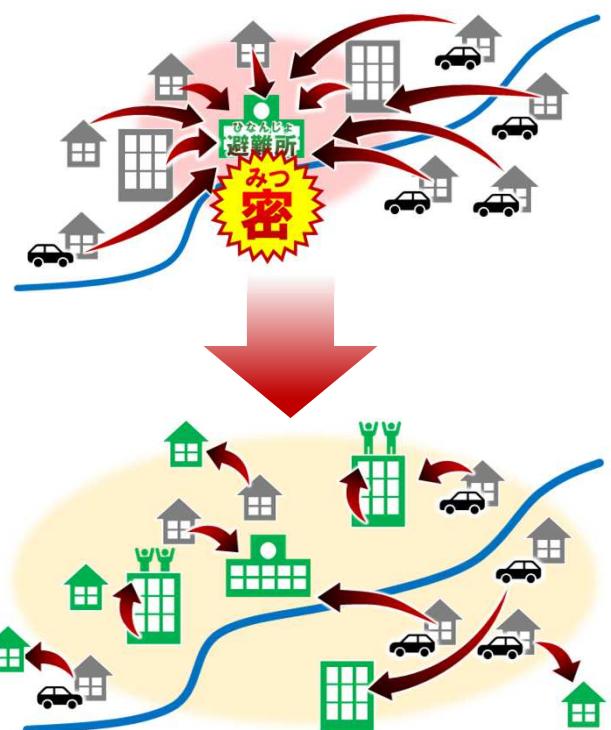
水害からの「避難」を考えると「避難所（学校）に行くこと」だと思う人もいると思います。でも、地域みんなが1つの場所に避難をしたら、その場所が「密」になってしまいます。もしも、コロナにかかった人がいたら、コロナがうつってしまうかもしれません。

このときは「分散避難（ばらばら避難）」を考えましょう。安全な学校や公民館への「がっこく避難／こうみんかん避難」だけでなく、おうちが安全なら「おうち避難」、しんせきの「しんせきのおうち避難」など、いろいろな方法で、ばらばら避難することで、コロナウイルスにかかるてしまう危険からも逃げることができます。もしも、おうち避難も、しんせきのおうち避難もできないなら、コロナ対策をきちんとして、迷わず避難所に避難（がっこく避難・こうみんかん避難）をすることが大切です。

自分と自分の家族は、もしも水害が起こってしまったら、どこへ避難をすればいいのか、水害が起こっていない今、家族と話し合っておきましょう。

地域のみんなが

1つの場所に避難すると



ばらばら避難

※おうちが安全な場合



しんせきの おうち避難



ばらばら 避難



▲ コロナウイルスの危険があるなかで
大切な「分散避難（ばらばら避難）」

▲ 「ばらばら避難」考えてみよう

① おうちが安全か？ → おうち避難



② しんせきのおうちは安全か？ → しんせきの おうち避難



③ 迷わず避難所へ避難 → がっこく避難